

## コウモリの死体から採集されたクモバエ2種

川口 敏<sup>1</sup>・笹井 剛博<sup>2</sup>

<sup>1</sup>〒769-2102 香川県さぬき市鴨庄994-6

<sup>2</sup>国際双翅類研究所多摩分室 (IDD)

### Two nycteribiids species found on carcass of bats

Satoshi Kawaguchi<sup>1</sup> and Takehiro Sasai<sup>2</sup>

<sup>1</sup>994-6, Kamoshō, Sanuki, 769-2102, Japan

<sup>2</sup>International Department of Dipterology (IDD), Tama Laboratory

双翅目に属するクモバエ類は、蛹生性・吸血性・無翅で、コウモリに外部寄生する (Theodor, 1975)。これまでクモバエ類はコウモリの生体から採集されてきたが、今回、コウモリの事故死体からクモバエを採集したので報告する。なお、コウモリの同定・標本保管は川口敏が行い、クモバエの同定・標本保管は笹井剛博が行った。

2017年10月24日、香川県さぬき市津田町鶴羽の歩道上で、ユビナガコウモリ *Miniopterus fuliginosus* 雄1頭の死体 (標本番号1563) を発見・採集した。また、この死体の体表からヒメヘラズネクモバエ *Nycteribia pygmaea* 雄1頭、雌1頭の生体を採集した。

2018年10月30日、香川県さぬき市鴨部の路上で、ユビナガコウモリ雌1頭の死体 (標本番号1567) を発見・採集した。この死体の体表から、ケブカクモバエ *Penicillida jenysii* 雄1頭、ヒメヘラズネクモバエ雄2頭、雌1頭の生体を採集した (図1)。

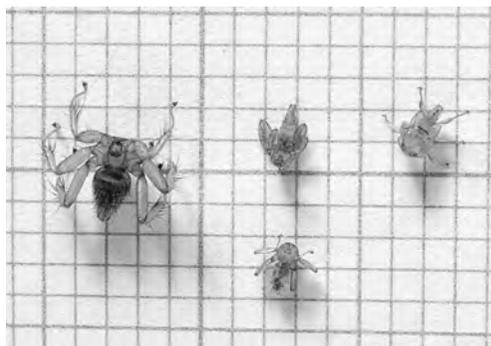


図1. ケブカクモバエ (左) とヒメヘラズネクモバエ (右の3頭)。スケールは1 mm.

### 引用文献

Theodor, O. 1975. Fauna Palaestina · Insecta I: Diptera Pupipara. The Israel Academy of Science and Humanities, Jerusalem.